PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-180349

(43) Date of publication of application: 26.06.1992

(51)Int.Cl.

H04N 1/40

G06F 15/68 H04N 1/40

(21)Application number: 02-307097

(71)Applicant: RICOH CO LTD

(22)Date of filing:

15.11.1990

(72)Inventor: IMAO KAORU

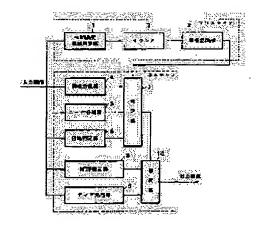
OUCH! SATOSH!

(54) PICTURE PROCESSING SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain the reproduced picture of high picture quality free from the staining by judging whether a photograph picture is contained in an object picture or not by pre-scanning, and reproducing an area where the object picture is not dots at the time of normal scanning and in addition, density is low by a white signal in the case that the photograph picture is not contained.

CONSTITUTION: It is judged whether the photograph picture is contained in an input picture or not by a prescanning block. In the case that the dot picture of a small area is detected at the time of the pre-scanning, an original is recognized by deciding it to be due to erroneous separation. At the time of the normal scanning, the input picture is supplied to a dot separating part 4, an edge separating part 5, and a white ground deciding part 6 in parallel, and in the dot separating part 4, the dot is separated according to whether the density is peak—shaped or not. In the white



ground deciding part 6, a true white ground part and the highlight part of the photograph picture are decided to be the white ground, and the highlight part of the dot picture is decided to be a non- white ground because there is a small dot in the original.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

19日本国特許庁(JP)

⑩特許 出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報(A) 平4-180349

⑤Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成4年(1992)6月26日

H 04 N 1/40 G 06 F 15/68 H 04 N 1/40

F 3 1 0 104

9068-5C 8420-5L 9068-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

❷発明の名称 画像処理方式

> ②特 頤 平2-307097

> > 平 2(1990)11月15日。

②発

尾

黨

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

@発 明 者

人

大 内

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

個代 理 人

⑪出 顋

弁理士 滝野 秀雄

株式会社リコー

突出

外1名

明

画像処理方式

1. 発明の名称

2. 特許請求の範囲

対象画像をプリスキャンし、局所的な各種特徴 量に基づき画像種を判定し、この判定結果に基づ き再生方式を変化させる画像処理方式において、

上記プリスキャン時に対象画像に写真画像を含 むか否かを判定する手段と、本スキャン時に対象 顕像が網点画像か否かを判定をする手段と、本ス キャン時に対象画像がエッヂ部か否かを判定する 手段と、上記各手段の判定結果に基づいて各箇像 領域または画素の属性を判定して再生方式を切り 換える手段と、上記対象画像が写真画像を含まな い場合、上記本スキャン時に非網点領域でかつ濃 度の低い領域を白で再生することを特徴とする画 像処理方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、対象画像中から文字・写真・網点 を分離し、それぞれに最適な画像処理を適応的に 施して高面質な画像を再現する画像処理方式に関 する。

〔従来の技術〕

ディジタル復写機やファクシミリ装置等におい て、高画質な再生画像を得るには、文字・写真・ 網点のそれぞれに応じた最適な画像処理を適応的 に施すことが望ましい。このような処理を実現す るには、その前処理として画像中の文字・写真・ 網点の各画像領域を正確に分離する必要がある。

従来、文字・写真・網点の混在する画像から各 函像領域を正確に分離する方法としては、例えば、 論文『文字・写真・網点の混在する画像の2値化 処理方法』(平成元年度画像電子学会全国大会予 稿,P91~P94)がある。この方法は複数面素ブ ロック毎に白黒変化点のエッヂ検出を行って「文

特別平4-180349(2)

字・網点画像」と「連続震谈画像」との分離を行い、その後、その画素ブロックを 2 値化画素パターンのパターンマッチングによって「文字画像」と「網点画像」とに分離する。

「文字・網点画像」と「連続器談画像」との分離は、まず、対象画像を1ブロックm×n画素の複数ブロックに分割し、各ブロック毎に平均震度を求める。次いで、平均震度が濃度のダイナミックレンジの半分よりも小さいときは、予め定めた基準値を平均濃度に加算し、大きいときは減算してその結果を当該プロック内のパラメータとする。その結果を当該プロック内のパラメータとする。その特別では、このパラメータが当該ブロック内の設定の分布範囲内に含まれているときは「文字・網点画像」と判定し、含まれていないときは「連続濃淡画像」と判定する。

「文字画像」と「網点画像」との分離は、ブロック内の平均濃度を関値としてブロック内の画素を2値化し、各ブロック内において黒画素と白画素とのパターンを調べ、予め統計量から作成したパターンマッチング用ROMデータと比較して文

字画像に属するものであれば「文字画像」とし、 網点画像に属するものであれば「網点画像」とし て分離する。

こうして、分離した各面像領域のうち「文字画像」はエッヂ強調等を施した2値化処理を行い、「網点画像」および「連続機談画像」は平滑化ののち擬似中間調処理を行う。

(発明が解決しようとする課題)

前述の従来方法によると、文字のエッヂ部分が「文字画像」として分離されるため、白地領域は 絵柄画像(網点画像または連続濃淡画像)として 処理される。このため、白地領域といってもある 程度の濃度があるため、再生画像の白地領域の所 々にはインクドットが打たれ、地汚れが目立って 画質が劣化するという不都合が生じる。

この発明は文字・写真・網点の混在する画像中から文字・写真・網点を分離する際に、白地領域を検出し、その領域を白で再生することにより地 汚れのない画像を再生して再生画像の高面質化を

図ることを目的とする。

(課題を解決するための手段)

〔作 用〕

この発明によれば、まず、プリスキャンによって対象画像に写真画像が含まれるか否か判定し、

写真画像が含まれない場合は、本スキャン時に対象画像が非網点で、かつ低濃度の領域を白地領域として白信号で再生する。従って、網点・文字混在画像の白地部が白信号で再生でき、地汚れのない高画質な画像を再生することが出来る。

(実施例)

第1図は、この発明による画像処理方式の一実施例を示すブロック図である。図中、点線枠内のブロックはブリスキャン時に作動するブロックであり、鎖線枠内のブロックは本スキャン時に作動するブロックである。

プリスキャンプロックは、対象原稿を読み取って得られる人力画像に写真画像(連続護談画像)が含まれているか否かの判定を行う中間設度領域と判定部1と、この判定部1で中間設度領域と判定した領域数をカウントするカウンタ2と、カウンタ2のカウント値から対象原稿が写真を含む混在原稿であるか否か判定する原稿認識部3とからなる。

この構成において、まず、プリスキャンブロックによって入力画像中に写真画像(連続濃淡画像)が含まれているか否かの判定を行う。この判定は中間濃度の有無に基づき行う。写真画像には一般に中間濃度の領域が存在し、これに対して文字画像および網点画像には中間濃度の画案が広く存在することがないことを利用している。具体的には、

中間震度領域判定で、入力画像の所定の領域判定部Iで、入力画像の所定の領域判定のの所定のの所定のの所定のの所定のの所定ののの所定のののののでは、4×4 画震度領域と判定はない。そし、2 中間震度域と判定する。そし、2 中間震度域と判定をから、ではないのでは、では、1 中では、1 中では

本スキャン時には、入力画像が網点分離的 4 、 エッヂ分離的 5 および白地判定的 6 に並列に供給 され、網点分離的 4 では、護度がピーク状になっ ているか否かで網点を分離する。この網点分離的 4 では、網点画像が網点として分離され、文字・ 写真画像が非網点として分離される。この網点分 離部 4 については、この出願人が先に提出した特

願平」-278559号(発明の名称:「郷点領域分離装置」)に詳細に開示されている。

エッヂ分離部5では、3値化(黒/灰/白)した黒画素および白画素の連結性に基づきエッヂを分離している。このエッヂ分離部5では、文字のエッヂ部がエッヂとして分離され、写真画像が非エッヂ部として分離され、網点画像は一部が非エッヂ部として分離される。このエッヂ分離部5については、この出願人が先に提出した特願平2ー134054号(発明の名称:「線画分離方式」)に詳細に開示されている。

白地判定部 6 では、低震度画素の有無により白地部分の判定を行っている。具体的には、所定領域内において、全画素が低濃度であるときは白地と判定し、そうでないときは非白地と判定する。この白地判定部 6 では、本当の白地部および写真画像のハイライト部を白地として判定し、網点画像のハイライト部は原稿に微小なドットが存在するため非白地部として判定する。

判定部7では、プリスキャン時の判定結果およ

び網点分離部4、エッヂ分離部5 および白地判定部6 での分離および判定結果に基づいて、入力画像を文字部、絵柄部、白地部に分離する。判定部7 における各画像領域の分離手法は次のようにして行う。

まず、プリスキャン時に入力画像が写真画像を 含まないと判定したときは、

- (a) 入力画像がエッヂ領域を有し、かつ非網点のときは文字部と判定する。
- (b) 入力画像が(a)以外で非白地のときは、絵柄部と判定する。
- (c) 入力画像が(a)以外で白地のときは、白地部と判定する。

プリスキャン時に写真画像を含むと判定したと きは、

- (a) 入力画像がエッヂ領域を有し、かつ非網点のときは文字部と判定する。
- (b) 入力画像が(a)以外で非白地のときは、絵柄 都と判定する。
- (c) 入力画像が個以外で白地のときは、絵柄部

と判定する。

選択部10では、この判定結果に基づいてMT ド補正部8またはディザ処理部9の出力を選択し、 出力質像として外部に出力する。すなわち、入力 画像中の文字画像はMTF補正部8でMTF補正 して2値化し解像度を重視した信号として出力し、 絵柄画像はディザ処理部9でディザ処理し階調性 を重視した信号として出力し、白地部は白信号で 出力する。

(発明の効果)

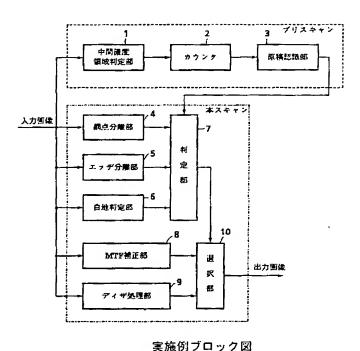
この発明によれば、プリスキャンによって対象 画像に写真画像が含まれているか否か判断し、写 真面像が含まれていない場合は、本スキャン時に 対象画像が非拥点で、かつ低濃度の領域を白信号 で再生するようにしたので、拥点・文字混在画像 の白地部を白信号で再生することができ、地汚れ のない高画質な再生画像を得ることが出来る。

4.図面の簡単な説明

第1図はこの発明による画像処理方式の一実施 例を示すブロック図である。

1…中間 政策領域判定部、2…カウンタ、3… 原稿認識部、4…網点分離部、5…エッヂ分離部、 6…白地判定部、7…判定部、8…MTF 補正部、 9…ディザ処理部、10…選択部。

特許出願人			株式会社		j	J	-	
ተቲ	理	Д	m	野	秀	ţ	雄	
	同		中	内	康	Ē	雄	



美施例プロック

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第7部門第3区分 【発行日】平成11年(1999)12月10日

【公開番号】特開平4-180349 【公開日】平成4年(1992)6月26日

【年通号数】公開特許公報4-1804

【出願番号】特願平2-307097 【国際特許分類第6版】

HO4N 1/40

G06T 5/00

[FI]

HO4N 1/40

G06F 15/68 310 J

> 子 祝 補 正 輝 (は発) 平成 9年10月28日

特許庁長官 尉

1. 事件の表示

平成 2年 特 許 職 第307097号

2. 発明の名称

質 休 处 理 袋 面

3. 福正をする会

事件との関係 特許出滅人

住 所 東京都大田区中馬込1丁目3名6号

名称 (674) 株式会社 リコー

4. 化 理 人

住 所 東京都然谷区直让寿二丁目36番13号 広原SKビル4路 T150 TBL (03) 5421-2331 PAX (03) 5421-2351

(6069) 赤斑土 程 野 秀 雄

住 所 東京都独谷区恵比寺二丁目36番13号 広尾5Kビル4階 〒150 FEL (03) 5421-2331 FAX (03) 5421-2351

T150 FEL (03) 5421-2331 FAK (03) 5421-2351 氏名 (9223) 弁理士 中 内 歴 理 計画により増加する緯水項の数 1

- 6. 補正により増加する請求項の数
- 6. 過正対象書類名 明報書
- 1. 建正对象项目名

「発明の名称」、「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」及び 「図面の簡単な説明」の脳

1...

8. 補正の内容

- ② 特許諸求の額囲を別紙の通り補正する。
- (3) 明昭書第2頁第5行、第8頁第7行、および第12頁第2行の「方式」を 「装御」に補正する。
- (4) 男伯書第5頁第9行乃董第15行の「この発明は…するようにする。」を

「請求項」の発明においては、対象兩位をスキャンし、局所的な特徴量に基づき 画像艦を判定し、この判定結果に基づいて再生方式を変化させる画像処理装置に おいて、プリスキャン時に対象両数が写真両数を合むか否かを制定する手段と、 ポスキ+ン時に対象価値の当該局所領域が白地領域が否かを判定する白地判定手 役と、自済領域と制定した領域を自で再生する手段を扱え、

南記プリスキャン時に写真画像が含まれるか否かによって、前記自地との構定 塩果を変更する。

また翻求項2の発明においては、前配白地との判定結果の変更を、プリスキャ ン時に上記対象画像に写真画像が合まれないと判定した場合は、上記本スキャン 時に非関点でかつ自地と判定された領域を自地部と判定し、写真層像が含まれる と判定した場合は、砼柄部と判定する。」

R F

E 250 ACE 3

特許請求の額囲

(1) 対象面在をスキャンし、同所的な特徴量に基づき画像標を相定し、この料定結果に基づいて再生方式を変化させる画像処理装置において、プリスキャン時に対象面像が写真画像を含むか否かを判定する手段と、末スキャン時に対象画像の当該周所領域が自地関連か否かを判定する自動初定手段と、自由結構と判定した鍵域を自て其生する手段を重え、

<u>電配プリスキャン同に不真更</u>能が含<u>まれるか否かによって、</u>商記白地と<u>の利定</u> <u>結果を思見する、ようにした</u>ことを特徴とする百僚を理**気置。**

② 竜末項1の差費において、

前記自治との特定結果の変更を、プリスキャン時に上記対象価値に写真可性が 食まれないと判定した場合は、上記本スキャン時に手割点でかつ自由と利定され た開始を自動館と判定し、写真所像が含まれると対定した場合は、資何等と判定 するようにしたことを特徴とする画像が得該す。

以上